

## 第2回葛飾区都市計画マスタープラン策定委員会 議事概要

日時：平成21年11月17日（火）午後2時～4時

場所：ウィメンズパル多目的ホール

出席者：別表参照

### 議事内容

#### 1. 開会

事務局より、本委員会を「公開」することから、傍聴希望者が6名いることを報告し、入室していただいた。

#### 2. 委員長あいさつ

#### 3. 議事

事務局より以下の資料説明を行った後、質疑を行った。

##### (1) 資料2 地域別勉強会の開催報告

<説明要旨>

- ・今後の開催予定として、平成22年2月に地域別構想案たたき台の公表とより多くの区民の意見を頂くため、展示会とミニシンポジウムの開催を予定していることを説明。
- ・本資料がまとめ途中であることから、次回地域別勉強会で引き続き意見交換を行うことを説明。

##### (2) 質疑

委員長 地域別勉強会の開催状況について、質問等がありますか。

A委員 フィットネスパークについて説明をお願いしたいのですが。

事務局 第1回の委員会資料6「区内で進められている街づくり事業などについて」のP.3に掲載しています。老朽化している水元体育館、温水プールの建替えを含み、都立水元高校跡地の一部と水元中央公園をフィットネスパークとして整備するものです。今年度から地区の住民の方にもご参加頂き、構想づくりをしています。12月からは、住民の方々への意見聴取を開始する予定です。

委員長 「フィットネスパーク」という固有名詞は決定しているのですか。

事務局 あくまでも仮称です。

##### (3) 資料3 都市計画マスタープラン基本方針の継承・改定の考え方

<説明要旨>

- ・将来都市構造の改定では、特に拠点の位置づけの検討が必要な地区として、新宿六丁目地区、高砂駅周辺地区、区役所・立石駅・青砥駅周辺をあげて説明した。

#### (4) 意見交換

委員長 「都市計画マスタープラン基本方針の継承・改定の考え方」について意見交換をお願いできますか。内容について、簡単に総括します。最初の資料2では、地元の意見の要約をまとめ、これらの意見や都市マス改定後の進捗状況を踏まえ、地域別の見直し案を整理しました。次に、これらを踏まえて全体計画の「都市計画マスタープラン基本方針の継承・改定の考え方」をまとめました。「1. 策定にあたって」の部分は基本的に継承ということです。次に「2. まちづくりの基本理念」も基本的に継承ですが、 については、地球環境問題を重視し、「低炭素」というキーワードを入れています。 については、歴史・文化、個性や誇りを醸成するという点を加えました。 については、都市型観光や誘致される東京理科大との産学連携などの話が入ります。 では、大学立地やフィットネスパークなどの話が入ります。全体としては、これまでのまちづくりの目標であった、川の手・人情都市というのを継承したいということです。都市計画マスタープランの全体像を説明頂いたが、基本的な枠組みは改定にあたっても継承したいと思います。しかし、策定から10年が経過し、変わっている点があるので、いくつかの改訂点が提案されました。分節型・多核連携型の都市構造ということで、日常的な生活圏の中に、拠点やネットワークなどに新たな位置づけを加えていきたいという説明でした。都市構造図にも、これまでのまちづくりの中で書き加えられたところがあります。総括としては、このようなところです。内容について、ご意見ををお願いします。

B委員 勉強会の記録を読むと「安全・安心」に関する意見が多いと感じます。新しい街を作るなら、近代的な工法で建物を作ることができるのでよいですが、そうではないので災害対策は難しいと思います。災害で、目に見えて怖いのは水害であり、中川は堤防の補強が必要であると思います。葛飾は3本の川に囲まれているため、管轄である国と連携していかなくてはいけないことから、中川の堤防補強については、国に何らかの声かけをして頂きたいと思います。

事務局 江戸川・荒川については、これまでも話がありましたが、今回は特に中川について、防災・親水の両面で関心が強く、住民の方々から多くのご意見を頂きました。この点をしっかり記述していきたいと考えます。

B委員 災害についてはハザードマップを作って頂いたので、区民の皆さんに関心を持って頂けたと思います。しかし、災害への対処には、心構えも大事です。他人任せでは自然災害に対処することはできないので、自律的に動いていくことが重要だと考えます。

- 委員長 都市計画マスタープランの P.33 には、スーパー堤防についての記載があります。スーパー堤防は、市街地整備に関係するので進めるのは難しいですが、水害に強いまちづくりを進めていく上では重要です。
- A 委員 資料 2 の P.2 にある、勉強会の主な意見について、3箇所疑問符となっている意見があります。1つ目は、柴又・高砂地域の災害時における長期的な避難場所の話について。
- 事務局 2つ目は、立石・四つ木地域における区の核としての位置づけについて。3つ目は、立石・四つ木地域における事業の進捗状況を示す必要があるという記述について。これは、鉄道の高架化の話だろうと思いますが、主語がないのでわかりません。これらについて教えて頂きたいと思いません。
- 事務局 1つ目の避難場所の話は、一時避難場所は位置づけられているが、避難生活が長期化した場合の問題について、仮設住宅をどうするかといった意見であったかと思いません。前回勉強会では中林先生から震災復興についての講演をして頂き、長期的な避難への対応の必要性の話についてもご講義頂いています。2つ目の立石・四つ木地域の核についての話は、全体構想の P.4 で行政・コミュニティ拠点として青砥駅・立石駅・区役所周辺を丸で囲んでいます。地域別勉強会では、青砥駅周辺は商業集積があり、立石駅周辺はまちづくりが進んでいるので、どちらを拠点にすべきか、両方の意見がありました。この話は、今後更に勉強会での意見交換必要であると考えています。3つ目は、鉄道立体化事業に特化した話でなく、都市マス全体としての進捗状況をリアルタイムで知れるような仕組みがあった方がよいというご意見であります。
- 委員長 事業の進捗については、進行管理という視点で重要になると思いません。都市計画マスタープランでは、計画の実現・推進という形でまとめることになると思いませんが、PDCA に基づき、まちづくりを考えていきましょうという展開が出てくることになるでしょう。総括になりますが、都市計画マスタープランについては、一部改訂する部分はありますが、全体としては継承していくということによろしいでしょうか。
- 委員長 基本的には継承する形で、これまでの話を踏まえながら進めていきたいと思いません。また、全体のキャッチコピーにも関わりますが、「川の手・人情都市かつしか」を継承していくということによろしいでしょうか。

- 委員長 分節型・多核連携型の都市構造で、三段階の拠点を位置づけてきましたが、これをネットワークで結んでより行きやすいようにしていくという考え方を引き継いでいきたいという考え方ですが、これについてもよろしいでしょうか。
- (異議なし)
- 委員長 改訂にあたって、新たに拠点到位置づけることを検討しているものが3つあります。1つ目は、新宿六丁目周辺であり、大学や公園の整備が進んできたことから新たに位置づけるという提案でした。2つ目は、高砂駅周辺地区です。都営団地の建て替え、駅周辺の改善もあり、この地区についても広域生活拠点の位置づけをしました。3つ目は、青砥駅・立石駅・区役所周辺についてですが、この中でどこが拠点となるか、拠点的あり方は勉強会での大きな課題になると思われます。新たに3つの拠点を位置づけたことについて、ご意見があればお願いします。
- C委員 拠点というのは、土地利用と都市政策の2つの意味で重要ですが、葛飾区は拠点の種類が少ないと思います。拠点の種類が少ないと使いづらいのではないのでしょうか。どこも広域生活拠点というのではなくて、もう少し細かく分類して位置づけるべきだと思います。もう一度、拠点の位置づけについて議論して頂ければと思います
- 委員長 これまでは、青砥・立石・区役所周辺を、それぞれ1つの小さな拠点としてきましたが、これらをまとめて1つの拠点と見れば、空間的にも、交通の面でも、葛飾区を中心となるわけで、そういう位置づけをもう一度検討した方がよいということでもよろしいでしょうか。
- C委員 はい、そのようなことです。ただし、金町と亀有が同じ拠点の位置づけでよいのかというのは疑問に感じるところです。
- 委員長 葛飾全体としてどういう拠点を配置するのか、多核型の都市づくりの中で、それぞれがどのように役割分担するのかという話でありますので、今後検討を進めて頂きたいと思います。
- D委員 高砂のまちづくりについては、来年の1月には素案が出ることになりましたが、これとどのように整合を図っていくことになりましたか。また、ミニシンポジウムについては、7つの地域別を実施するのですか。
- 事務局 高砂については、まちづくり協議会が区に提案したプランを勉強会のメンバーに説明し、情報の共有化を図っています。この取り組みとうまく整合が取れるようにしていきたいと考えています。ミニシンポジウムについては、実施は1つの会場に合同で行うことになると思います。各地域の代表に出席して頂く予定です。地域ごとのまとめは、区民事務所のある6つの地区センターと区役所で展示し、意見を頂く予定です。

- 委員長 地域別勉強会やミニシンポジウムについてのご質問の意図は、ボトムアップ型のまちづくりを推進して欲しいということでしょう。私の方で1つ気になるのは、前回の都市計画マスタープランの地域別構想図に出ていた新金貨物線の線が消えていることです。葛飾区は中川で南北に分断されており、南北を結ぶ鉄軌道系交通機関もないため、南北の公共交通ネットワークの話は長年の懸案事項であると思います。新金線の活用は重要だと思うので、敢えて消したのではないのなら、線を表示しておいて頂きたいと思います。
- 事務局 ネットワークの話は全体構想の中で整理して行く予定ですので、基本的にはそちらで議論したいと思っています。ただし、新金線については貴重な地域資源であると捉えていますので、何らかの形で表現したいと思います。また、意図的に消したわけではありません。
- E 委員 ネットワークについてですが、「ミニスーパー堤防の展開」というのがあります。このようなものをできるところからやっていく、例えば駅などの「たまり」の空間などに整備していったらどうかと思います。「川の手」が感じられるようなまちづくりを強化していくべきだと思います。低炭素まちづくりとしては、自転車の活用に注目してはどうでしょうか。三郷市では、自転車のネットワークを強化し、駅前に駐輪場整備を進めています。これは、買い物の利便性対策というだけでなく、サイクリングの促進という狙いもあるとのこと。フィットネスということでは、健康のために域内を自転車で走り回るといのは葛飾には適していると思います。オランダではゼロメートル地帯を自転車で広範囲に走っています。
- 委員長 自動車交通を少なくし、拠点や川の手へは自転車でアクセスする。このようなものがイメージとして描ければと思っています。
- 委員長 今頂いたご意見は、特に低炭素まちづくりという観点から検討してはどうかという趣旨だと思います。地域で共有すべき課題であると思いますので、検討を進めて欲しいと思います。私から1点確認しておきたいことがございます。資料2の表紙に、7つの地域別の区分図があるのですが、この中で、青砥駅周辺地区は、亀有・青戸地域と立石・四つ木地域の両方にまたがっています。地域の区分線は、歴史的な経緯等もあり、これまでこの区分で使われてきたのでしょうか。先ほどから話にあった新しい拠点である青砥駅周辺地区については、地域別方針の中で、区域についても検討が可能なのでしょうか。線を変更するというのは難しいと思いますが、一体的な整備は必要だと思います。

事務局 地域のまちづくりは町会との連携が必要であり、この区分線に基づいて活動しています。これまでの経緯を踏まえ、線を変えるのは難しいと思います。2つの地域の共通課題として、一体的な整備のための意見交換を行うなどしながら取りまとめができるようにしていきたいと考えます。

委員長 総括させていただきますが、基本的には今回提示した内容を踏まえ、都市計画マスタープランを改訂していくということによろしいでしょうか。  
(一同賛成)

委員長 では、これで進めていきたいと思えます。本日の議事は以上ですが、その他にご意見・ご要望はありますか。今年度の地域別勉強会は第4回・第5回が残っています。また、少し先になりますが、ミニシンポジウムも開催する予定です。これらについては、各委員にも連絡し、ご参加頂ければと思います。ミニシンポジウムは、木下委員を座長として行うことを検討しています。こちらについては、是非ご参加頂ければと思います。

#### 6. その他

- ・次回開催は、平成 22 年 3 月 26 日(金)午前 10 時から、ウィメンズパル 1 階多目的ホールで行うことを報告する。

#### 7. 閉会

## 葛飾区都市計画マスタープラン策定委員会委員名簿

平成21年11月17日現在

## 学識経験者

## 出席

ナカバヤシ 中林	イツキ 一樹	首都大学東京大学院教授	
キノシタ 木下	イサミ 勇	千葉大学大学院教授	
クボタ 窪田	アヤ 亜矢	東京大学大学院教授	
チョウ 長	ユウジ 裕二	元東京都都市計画局長	
オオツカ 大塚	ヨシヒコ 順彦	元葛飾区都市計画部長	

## 区民団体等の代表

カラマツ 唐松	テルオ 輝雄	葛飾区自治町会連合会副会長	
ノカワ 信川	シンドウ 仁道	東京商工会議所葛飾支部会長	
キクチ 菊地	ヒデハル 英晴	葛飾区工場団体連合会副会長	
ナカトガワ 中戸川	シンペイ 進平	葛飾区商店街連合会会長	
キグレ 木暮	リュウイチ 隆一	東京スマイル農業協同組合代表理事組合長	
ヤモオカ 谷茂岡	マサコ 正子	葛飾区消費者団体連合会会長	
ツカダ 塚田	カズコ 和子	かつしか女性会議	
シミズ 清水	マサロク 正六	葛飾区民生委員児童委員協議会会長職務代理	
サトウ 佐藤	コウイチ 光一	葛飾区障害者福祉連合会会長	
ナカ 仲	ヒロヒト 浩一	葛飾区小学校PTA連合会会長	
アキヤマ 秋山	カオル 薫	葛飾区中学校PTA連合会	
ミヤモト 宮本	ヒロヨシ 博喜	葛飾区青少年委員会	
ウラオカ 浦岡	ヒデツグ 秀次	葛飾区青少年育成地区委員会会長連絡協議会会長	
カナザワ 金沢	ミチオ 美知夫	葛飾区体育指導委員協議会会長	

## 行政委員

カシワザキ 柏崎	ヒロキ 裕紀	政策経営部長	
タカハシ 高橋	マサアキ 成彰	地域振興部長	
カケイ 筧	コウイチ 晃一	産業経済担当部長	
タカハシ 高橋	ツネオ 常雄	環境部長	
スズキ 鈴木	アキヒト 昭仁	福祉部長	
カノマタ 鹿又	ユキオ 幸夫	子育て支援部長	
クノ 久野	セイフク 清福	都市整備部長	
タン 丹	クモツ 保	都市施設担当部長	
ウチヤマ 内山	トシユキ 利之	教育委員会次長	